



桜蔭理工系女子育成プログラム



1 桜蔭理工系女子育成プログラムとは

本校 S S H の人材育成計画の中核となるプログラムの一つで、その名の通り、理工系分野を志す女子生徒を増やすことを目的としたものです。桜蔭とは、女子高を母体とする国分高校同窓会の通称、桜蔭会にちなんで名を冠したものです。具体的な活動としては

- ① 女性技術者による講演会
- ② 女性技術者、大学教授等の研究室等の訪問
- ③ 桜蔭理工系女子育成ゼミ（自主ゼミ）の開設、等を計画しています。



2 S S H 女性技術者講演

女性技術者による講演会は、本通信第 7 号で紹介したように昨年 7 月、京セラ総合研究所の益子貴子氏に第 1 回目を実施していただきました。第 2 回目は、昨年 12 月 17 日（月）、国立研究開発法人・薬用植物資源センター種子島研究部の主任研究員である安食菜穂子先生にお願いしました。先生は、同センターの設置目的や歴史について話された後、薬用植物の保存、試験栽培に関する取り組みや漢方薬や生薬の概念の説明、薬用植物経済の実態等について、詳しくお話し下さいました。「世界の誰も知らないことを私は知っている！という喜びが、研究の醍醐味です。皆さんも課題研究でそんなわくわくする研究活動を楽しんでください。」という言葉が印象的でした。

専門的な話を交えながら、自分の天職として研究に没頭されているらしい様子をお話になり、特に女子生徒の生き方に一つの選択の選択肢を与えたものと思います。



安食先生によるご講演の様子

3 今後の予定

桜蔭理工系女子育成プログラムは、これから、上記の②及び③も実践していく予定です。特に③の桜蔭理工系女子育成ゼミは、霧島ジオパークゼミ、国際サイエンスゼミとともに学校主導の自主ゼミを開設し、生徒を募る予定です。本校 S S H 計画の特色の一つであり、多くの生徒が参加することを期待しています。

4 理工チャレンジ（リコチャレ）への参加

本校 S S H としての活動ではありませんが、理工系女子の育成に関して、内閣府男女共同参画局が中心となって取り組んでいる「理工チャレンジ（リコチャレ）」への参加について、紹介します。霧島市では、8 月 10 日（金）に、株式会社トヨタ車体研究所が、「クルマづくりをもっと知ろう！～夏のリコチャレ 2018」と銘打った職場見学会を実施し、本校から 1 年生の猿楽莉奈さんが参加しました。S S H 指定によるさまざまな取り組みの効果か、今年の一学年は、何事にも積極的な姿勢が顕著です。理工系を志す多くの女子生徒が出ることを期待しています。



（株）トヨタ車体にて

